

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : サンクラシーMSY-323 下塗主剤
供給者名 : 三商株式会社
住所 : 愛知県名古屋市東区葵三丁目 25 番 32 号
担当部署 : マテリアル事業部開発課
電話番号 : TEL 0568-89-5507 FAX 0568-89-5509
整理番号 : 2004002-02-04
推奨用途 : 工業用及び土木建築用塗料
使用上の制限 : 上記以外の用途に使用する場合は、SDS の記載内容に関わらず特に詳細なリスクアセスメントを実施することを推奨する。

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
エアゾール	区分に該当しない（分類対象外）
酸化性ガス	区分に該当しない（分類対象外）
高压ガス	区分に該当しない（分類対象外）
引火性液体	区分 2
可燃性固体	区分に該当しない（分類対象外）
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない（分類対象外）
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない（分類対象外）
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	分類できない
急性毒性（経皮）	分類できない
急性毒性（吸入：気体）	区分に該当しない（分類対象外）
急性毒性（吸入：蒸気）	区分 4
急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分 1
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳影響	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	区分 2
水生環境有害性 長期（慢性）	区分 2
オゾン層への有害性	分類できない

GHS ラベル要素

絵表示（ピクトグラム）



注意喚起語

危険

危険有害性情報

引火性の高い液体及び蒸気

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

吸入すると有害

長期継続的影響によって水生生物に毒性

注意書き

安全対策

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

容器を密閉しておくこと。

容器を接地しアースをとること。

防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／塗装器具】を使用すること。

火花を発生させない工具を使用すること。

静電気放電に対する措置を講ずること。

ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

環境への放出を避けること。

保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

特別な処置が必要である。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

漏出物を回収すること。

保管

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

内容物／容器を法令や規則に則って適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質/混合物の区別

混合物

組成

化学名または一般名	濃度または濃度範囲	CAS No.
酢酸エチル	5%	141-78-6

4. 応急措置

吸入した場合

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

気分が悪いときは医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合：多量の水で洗うこと。

特別な処置が必要である。

皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。

飲み込んだ場合

気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

霧状水、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類

使ってはならない消火剤

棒状水

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。

適切な保護具を着用する。

漏出物を回収すること。

環境に対する注意事項

河川への排出等により、環境への影響を起こさないように注意する。また、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出されないよう注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

密封できる容器に回収し、安全な場所に移す。

付着物、廃棄物などは、国や地方自治体の法律に基づいて処置すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。

安全取扱注意事項

ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

接触回避

データなし

衛生対策

取扱い後は手指をよく洗うこと

保管

安全な保管条件

施錠して保管すること。

換気の良い場所で保管すること。

容器を密閉しておくこと。

安全な容器包装材料

製品の容器のまま保管することが望ましい。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

酢酸エチル（5 %）（CAS RN：141-78-6）

日本産業衛生学会：許容濃度(ppm)200、許容濃度(mg/m³)720

適切な保護具

呼吸用保護具	有機ガス用防毒マスク
手の保護具	耐溶剤性保護手袋
目、顔面の保護具	保護眼鏡／保護面
皮膚及び身体の保護具	耐溶剤性保護衣

9. 物理的および化学的性質

物理状態	液体
色	淡黄色透明
臭い	エステル臭
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	可燃性液体
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	-4℃（酢酸エチル）
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	非該当
動粘性率	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.1
相対ガス密度	データなし
粒子特性	非該当

10. 安定性及び反応性

反応性

データなし

化学的安定性

通常取り扱い条件下では安定。

危険有害反応可能性

強酸、強塩基、酸化剤等とは激しく反応する可能性がある。

避けるべき条件

高温、火花、裸火、または、直射日光。凍結。

混触危険物質

強酸、強塩基、酸化剤

危険有害な分解生成物

分解、燃焼により一酸化炭素などを生じる場合がある。

11. 有害性情報

急性毒性（経口） ATEmix 計算結果が 2,000mg/kg を超えるため、区分に該当しないに該当。毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分

	類できないに変更。
急性毒性（経皮）	ATEmix 計算結果が 2,000mg/kg を超えるため、区分に該当しないに該当。毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。
急性毒性（吸入： 気体）	GHS 定義による気体ではない。
急性毒性（吸入： 蒸気）	ATEmix 計算結果が 2,500ppm を超え、20,000ppm 以下のため、区分 4 に該当。毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。
急性毒性（吸入： 粉じん、ミスト）	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺 激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。
眼に対する重篤 な損傷性／眼刺 激性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。毒性未知成分が 0.1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。
呼吸器感作性	データ不足のため分類できない。
皮膚感作性	区分 1 の成分合計が濃度限界（0.1%）以上のため、区分 1 に該当。
生殖細胞変異原 性	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性・授乳影 響	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒 性（単回ばく露）	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。毒性未知成分が 1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。
特定標的臓器毒 性（反復ばく露）	危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないに該当。毒性未知成分が 1%以上なので、区分に該当しないから分類できないに変更。
誤えん有害性	動粘性率が不明のため、分類できないに該当。

12. 環境影響情報

水生環境有害性 短期（急性）	(毒性乗率×10×区分 1)+区分 2 が濃度限界（25%）以上のため、 区分 2 に該当。
水生環境有害性 長期（慢性）	(毒性乗率×10×区分 1)+区分 2 が濃度限界（25%）以上のため、 区分 2 に該当。
生態毒性	データなし
残留性	データなし
分解性	データなし
生体蓄積性	データなし
土壤中の移動性	データなし
オゾン層への有害性	データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

残った製品(残余廃棄物)は、国や地方自治体の規則に従って廃棄すること。

汚染容器および包装

汚染した容器は残余廃棄物と同様に扱うこと。

14. 輸送上の注意

国連番号

1263

国連輸送名

塗料又は塗料関連物質

国連分類

3

容器等級

III

国内規制がある場合の規制情報

指針番号

128

15. 適用法令

労働安全衛生法

酢酸エチル（5 %）（CAS RN：141-78-6）

ラベル表示・SDS 交付義務対象物質（令別表第 9 の 177）【酢酸エチル】

ラベル表示・SDS 交付義務対象物質（規則別表第 2 の 595）【酢酸エチル】

危険物

引火性の物

有機溶剤中毒予防規則

第 2 種有機溶剤等

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

消防法

危険物 第 4 類第一石油類（非水溶性）

16. その他の情報

参考文献

経済産業省 GHS 分類ガイダンス

JIS Z 7252：GHS に基づく化学品の分類方法

JIS Z 7253：GHS に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）

厚生労働省 国連文書「化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS） 改訂 9 版（2021 年）」仮訳

注意事項

この安全データシートの記載内容は、既知の範囲の代表値であり、規格値、及び保証値を示すものではありません。